

縁



明けましておめでとうございます。

皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、夏場は雨が少なく高温傾向であったことに加え、収穫期には、幾度となく大型の台風が接近するなど、農業を基幹産業とする本市にとりましては不安が尽きない一年でありました。

そのような中、本市出身の横笛奏者であります佐藤ぶん太、氏が、音楽の殿堂・カーネギーホール公演で大成功を収められたニュースのほか、陸上競技やソフトテニス、バレーボール、ソフトボールなど、様々な競技で全国大会に出場された子どもたちの姿から、夢や目標に向かって努力することの大切さを再認識した一年でもありました。

市政におきましては、シティプロモーション事業として、本市出身の若手女優で、現在、映画やCMで活躍中であり、駒井蓮さんを起用したポスターを製作し、市内外への情報発信の強化に努めたところであります。

さらに、本市で長年愛されてきた焼肉文化を後世に継承するとともに、「平川サガリ」の美味しさを広く発信し、誘客と地域活性化を図るべく発足した「平川サガリ研究会」の活動をバックアップし、市SNSなどを通して積極的にPRしてまいりました。市を代表する食のコンテンツとして、今後さらに多くの方に愛されることを期待しております。



施設整備では、防災拠点の機能を備えた新体育館が今年4月に供用開始となります。新体育館の完成により、ひらかドームを中心とした総合型運動施設が一層充実し、健康増進やスポーツを通じた交流の場として、多くの皆さまに活用いただけるものと考えております。

また、今年はいよいよ新本庁舎建設事業の本体工事に着手いたします。この新本庁舎建設は、「市民が親しみ、交流し、賑わいが生まれる庁舎」、「安心、安全の拠点となる庁舎」、「人と環境に優しい庁舎」、「効率的で機能的な庁舎」を基本理念とし、皆さまの笑顔が自然と集まる施設となるよう計画、設計しております。

宅地開発分野では、昨年、平賀駅西側の本町地区において、50区画を超える民間宅地開発事業が実施されました。人口が減少する中にはありますが、少しでも多くの方に定住していただきたいと考えており、区画道路・側溝工事費の一部の補助や、子どもたちへの医療費助成などの施策を行いながら、住みよいまちづくりを進めてまいります。

平川市の活力ある未来を創り上げるため、市民、企業、行政が一体となり、力を結集しながら全力で取り組んでまいりますので、市民の皆さまのより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆さまにとりまして、穏やかで幸多い一年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



平川市長 今年の漢字 「縁」

中曽根元首相が人生訓にしていた三縁主義が「結縁 尊縁 随縁」。これは、縁を結び、縁を尊び、縁に従い生きていくということです。人々との出会い、物事との関わり合いを大切にしながら、平川市発展のために力を尽くしていきます。

令和2年 平川市長 長尾忠行

